

# 2013 年第 1 回オープンキャンパス実施報告

神屋 郁子

Yuko KAMIYA

九州産業大学 情報科学部 情報科学科

Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
kamiya@is.kyusan-u.ac.jp

## 1. はじめに

本報告では、2013 年第 1 回オープンキャンパスにおける情報科学部の取り組みを報告する。今回も多くの学生、教職員が参加し、大変にぎわいのあるオープンキャンパスであった。本報告では、前年度の 2012 年第 2 回オープンキャンパスの報告と、2013 年第 1 回オープンキャンパスにおける研究室紹介、来場者の流れ、そして集計とまとめについて報告する。

## 2. 2012 年第 2 回オープンキャンパスの報告

2012 年第 2 回オープンキャンパスには、7つの研究室と情報システム研究会が参加した。来場者は127名と、2011年度よりもやや減少していた。一方、模擬講義や施設自由見学、12号館個別進学相談については、前々回より参加者が増えていた。この結果から、情報科学部への興味のある学生が来学しているのではないかと考えている。

## 3. 今年度の傾向

2013 年第 1 回オープンキャンパスには、9 の研究室と情報システム研究会が参加した。研究室によっては複数の展示品を出展しているところもあり、12号館1階ではさまざまな展示が行われた。配置位置を図1に示す。今年度は、例年に比べて、研究室に配属された3年生の参加が多いようであった。また、情報システム研究会では、今年度入学してきた1年生もオープンキャンパスに参加しており、学生が積極的にオープンキャンパスに参加している様子が窺えた。

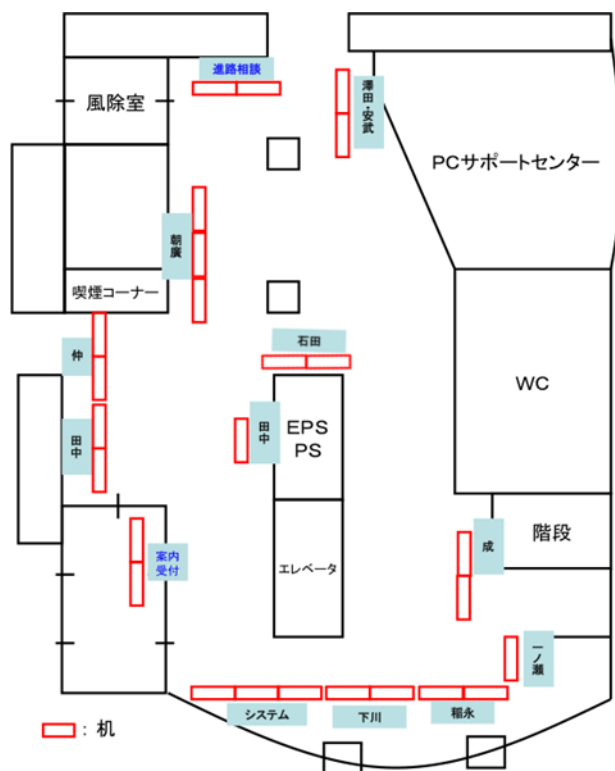


図1 12号館1階イベント・展示配置



図2 情報システム研究会ブース



図3 高校生への説明風景

#### 4. 情報科学部体験イベント・研究室紹介

今回のオープンキャンパスに出展したイベントのテーマを紹介する。

表1 イベント・テーマ名

出展者・団体名	出展テーマ名
朝廣研	「研究室で作成したゲームの体験」
石田研	「クリッカーを使った情報科学部検定」
一ノ瀬研	「ヒトの情報処理の不思議を体験」
下川研	「インターネットの入り口を作ろう」
成研	「実践的システム開発教育環境体験」
田中研	「スマートフォン／アプリ開発体験」 「君の教科書が電子書籍に！」 「スマホでコントロール」
仲研	「数学ソフトウェア Mathematica で遊んでみよう」
稲永研	「企業と“コラボ”ってる授業ってどんな感じ？」
澤田研・安武研	「ゲーム感覚でロボットを動かそう」
情報システム研究会	「Androidに触れてみよう！」「簡単にしてくれる Unity のゲーム」「ウェブページとはなんぞや？」「情報システム研究会とは？」「Shooting☆NOVA」

この他に、学部代表学生と学部教員が担当した進学相談コーナーと、学部教員が担当した施設見学、経営学部と情報科学部田中研究室が連携している IC

カードプロジェクトが開設された。また、2号館では、合志研究室が産学連携で研究を行っている安全運転教育システムと足型測定器の展示と実演が行われた。



図4 安全運転教育システムの展示・実演

#### 5. 模擬講義

安部恵介教授による模擬講義「アルゴリズムの効率化-カーナビへの応用-」が行われ、約60名の参加者があった。参加した学生の感想には「身近なものに結びつけて講義をしてくれたので興味をひかれた」や「情報科学のことがよくわかって勉強になった」などがあり、関心を持って講義に参加していた様子が窺えた。



図5 模擬講義の風景

#### 6. 集計

2010年第1回から2013年第1回までの来場者数の集計を図6に示す。模擬講義/施設見学/進学相談への来場者数は2012年第1回に引き続き80名強であり、情報科学部への関心が高まっていることが窺える。総合受付については、2012年第1回よりも減少している。これは、来場者が減少しているのではなく、今年度は総合受付担当の学生がおらず、手

のあいた学生で受付をしており、来場者を数えていない時間帯があったからである。一方、イベント参加者は2010年から年々増えており、今年度は前年度の約1.4倍の参加者があったことがわかる。これは、2012年に引き続きオープンキャンパス全体で行われていたICカードリーダーのスタンプラリーによる効果もあると思われるが、イベントへの参加ということは、来場者が各イベントに興味を持ち立ち止まったということであり、情報科学部や研究室のイベントに興味を持ってもらえたということがあるのではないかと思う。

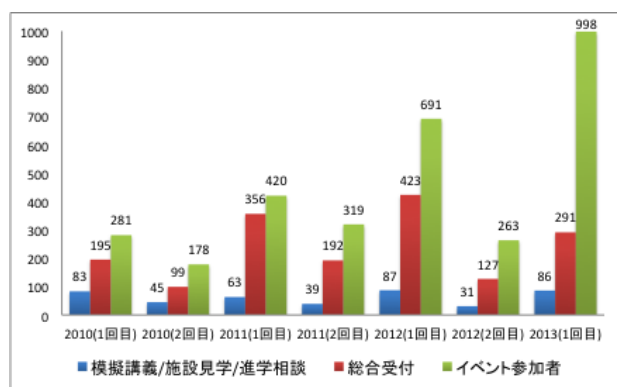


図6 来場者数と参加者数

## 7. まとめ

研究室に所属する学生や、情報システム研究室の学生、教員や学部事務室の方々のご協力により学部が一体となったオープンキャンパスを実施することができた。参加する学生の数も増え、学生の頑張りが参加者数の増員に大きく影響しているのではないかと思う。今後も、学生と教員が一体となって、オープンキャンパスを実施していきたい。